

平成22年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

広島市立中広中学校

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の実施日 平成22年4月20日（火）

3 調査方式

抽出調査・・・文部科学省が調査対象として抽出した学校において、調査を実施する。

希望利用による調査・・・文部科学省より問題等の提供を受け、各学校において、調査を実施する。

4 調査実施学校数（公立学校）等

区 分	抽出調査実施校数（校）		調査実施者数（人）		
	国	県	国	県	学校
小学校第6学年	5,372	137	264,193	6,276	—
中学校第3学年	4,347	121	421,281	11,297	186

5 調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学）

主として知識に関する問題〔A問題〕

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◇ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として活用に関する問題〔B問題〕

- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

- ◇ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

6 各教科の平均正答率

【小学校】

国語						算数					
A問題			B問題			A問題			B問題		
国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校
83.3	85.3	—	77.8	81.1	—	74.2	77.3	—	49.3	51.9	—

【中学校】

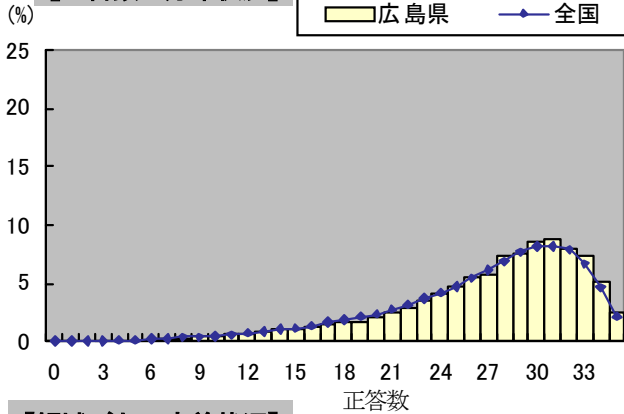
国語						数学					
A問題			B問題			A問題			B問題		
国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校	国	県	学校
75.1	76.0	73.7	65.3	65.7	65.1	64.6	64.9	56.8	43.3	43.3	36.5

7 各教科の調査結果の概要

【中学校国語】

国語A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
話すこと・聞くこと	74.2	74.0	69.6
書くこと	71.1	73.6	73.8
読むこと	76.6	77.0	75.6
言語事項	75.8	76.7	73.8

【問題形式による定着状況】

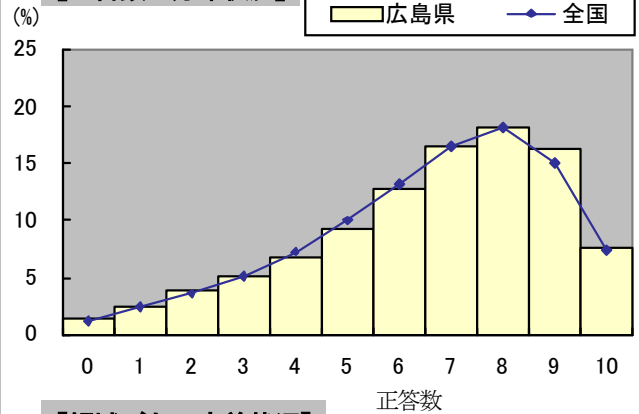
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	71.2	71.8	69.4
短答式	81.0	82.4	80.3
記述式	—	—	—

定着状況

- 書くことについては、国語A・国語Bの両方において県と全国を上回る定着状況である。
- 読むこと、言語事項についての定着状況は県と全国を下回っている。

国語B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
話すこと・聞くこと	45.6	47.7	50.0
書くこと	60.2	61.0	61.0
読むこと	67.5	67.7	66.8
言語事項	—	—	—

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	75.5	75.7	75.3
短答式	64.0	64.2	61.0
記述式	53.0	54.0	55.7

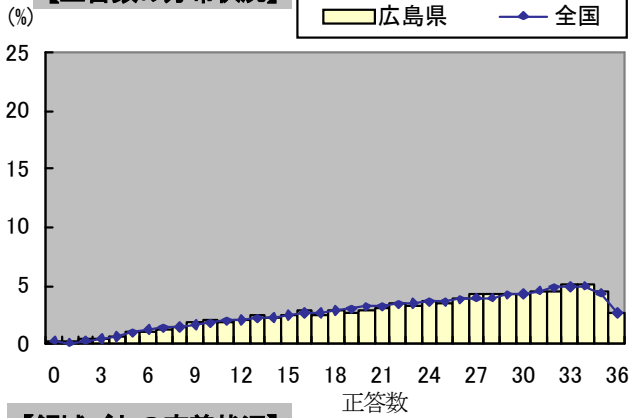
課題

- 読む力の定着が不十分である。
- 言語事項に力不足が目立つ。

【中学校数学】

数学A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
数と式	75.2	75.5	68.0
図形	64.3	64.7	57.8
数量関係	54.3	54.4	44.5

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	61.9	62.0	56.9
短答式	67.3	67.7	56.7
記述式	—	—	—

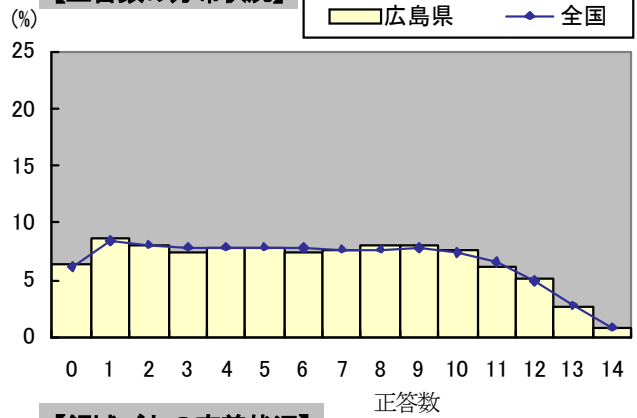
定着状況

○正答率が7割を切るというのは、残念である。特に数量関係（関数）については5割を切っており、多くの生徒が関数の考え方（イメージ）ができていないと思われる。

○3年の二乗に比例する関数の単元は、ブラックボックスなどを使い、関数の考え方を理解できるようにしたい。

数学B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
数と式	43.2	43.6	35.8
図形	40.2	40.7	35.1
数量関係	45.5	44.9	37.9

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	学校
選択式	51.9	50.6	45.5
短答式	53.7	54.6	50.0
記述式	33.4	33.2	24.2

課題

○記述式の正答率が3割を切っている。その1つの原因は学習に対する意欲の低下があげられる。困難な問題にもチャレンジする粘り強さをつけさせたい。また、授業では生徒の知的好奇心をくすぐるような学習課題を設定したい。